

## (新) 郡山合庁緑地管理業務委託仕様書

### 1 委託業務概要

- (1) 名 称 (新) 郡山合庁緑地管理業務委託
- (2) 場 所 (新) 郡山合同庁舎 郡山市南一丁目地内
- (3) 委託期間 着手日から令和9年3月31日まで
- (4) 目 的

合同庁舎敷地内の緑地について、快適かつ安全な構内環境を維持するため、以下及び「別紙－1 業務対象箇所及び回数」に定める事項により、管理業務を行う。

本仕様書に記載されない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)による。

### 2 業務内容

- (1) 「別紙－2」のとおり。

### 3 業務の実施

- (1) 受注者(以下、「乙」という。)は、業務計画書を作成し、これを事前に発注者(以下、「甲」という。)に提出し、甲の承諾を受けること。業務計画書には、責任体系や緊急連絡体制図及び代替要員体制図を示す書面、業務従事者名簿を含めること。

この業務従事者名簿には、業務従事者の氏名、生年月日、免状の種類及び番号を記載し、その中から総括責任者を1名選出すること。

- (2) 業務の結果、異常を発見した場合は、直ちに適切な処置を行い、甲にその結果を報告すること。

- (3) 樹木養生業務に要する光熱水費は甲の負担とする。

ただし、樹木養生業務に使用する消耗品は、乙の負担とし、発生材(剪定した枝等は除く)は事業系一般廃棄物として適正に処理する。

### 4 業務内容の報告及び記録

- (1) 業務報告書の様式を作成し、これを事前に提出し、甲の承諾を受けること。
- (2) 業務報告書は、業務終了後速やかに甲に提出し、確認を受けること。
- (3) 主な報告及び記録は下記のとおりとする。

ア、業務内容の結果

イ、異常や障害が生じた場合の記録(現況写真を添付すること。)や処理結果

ウ、その他甲が必要と認める書類

### 5 総括責任者

総括責任者は2級造園施工管理技士以上の資格を有する者とする。

甲は、総括責任者として不適当と認めた者については、乙と協議の上、交代させることができる。

### 6 業務従事者

業務従事者は、業務の実施に当たり十分な知識・技能を有する者とする。

甲は、業務従事者として不適当と認めた者については、乙と協議の上、交代させることができる。

7 相互協力

- (1) 甲と乙は協力して適切に当該管理業務を行うものとする。
- (2) 自然災害や不測の理由による樹木の枝折れや、境界際の樹木の剪定については、甲と別途協議するものとする。

8 疑義

この仕様書に定めのない事項又は、この仕様書に疑義が生じた場合には、必要に応じて、甲・乙協議してこれを定めるものとする。

## 業務対象箇所及び回数

対 象 箇 所	業 務 内 容	回 数	備 考
郡山合同庁舎構内	1. 高木剪定 2. 寄植剪定（低木） 3. 寄植剪定（中木） 4. 芝刈込 5. 雑草抜根除草 （地被類） 6. 施肥 普通化成肥料 （寄植、芝） 7. 防除 スミチオン乳剤相当 （高木、寄植） 8. 樹木冬囲い（取付・取除） （アカマツ）	年 1 回 年 1 回 年 1 回 年 2 回 年 2 回 年 2 回 年 1 回 年 1 回	

## 業務内容

## 1 樹木剪定

## ①基本事項

- ・ 樹木剪定は以下の目的を基本として施工する。
  - 1) 危険枝・障害枝・枯枝の除去
  - 2) 樹木生育の健全化
  - 3) 樹形の維持
  - 4) 樹木の修景的価値の向上

## ②刈込剪定

- ・ 刈込剪定を行うものは、寄植とする。
- ・ 刈込剪定をすることにより本来の樹形や花付き、樹勢などを損ねるものは、③の高木剪定に従い施工する。
- ・ 刈込剪定は個々の樹木の萌芽力や年ごとの伸長の程度に合わせ、現状の形姿が維持できるよう過不足なく均一に刈込む。
- ・ 機械刈込を基本とするが、機械作業により仕上りや安全性に支障があるものは手刈りする。

## ③高木剪定

- ・ 樹形の整正や、枝の伸長・込みすぎによる樹勢の劣化を防止することを目的とし、切詰・枝透かし等を行う。
- ・ 徒長枝・ひこばえ・交差枝・幹吹き・からみ枝等、樹木の生育上好ましくない枝は過不足なく除去する。
- ・ 花木類の剪定にあたっては本年及び翌年の開花が良好なものとなるよう樹種に応じた適切な剪定を行う。

## ④マツ類剪定

- ・ マツ類の剪定は込み合う枝や枯れ枝など不要な枝を剪り除いたのちに、揉み上げ（葉むしり）を行う。
- ・ 将来も美しい形姿を維持できるよう入念な剪定を行う必要があるので、作業員には十分なマツ剪定の経験がある者を配置すること。

## 2 芝刈込

- ・ 芝刈込は主にロータリーモアを使用し、施工時期や芝の生育状況に合わせて適切な刈高となるよう施工する。
- ・ 芝地端部は肩掛式刈払い機やその他の小規模機械もしくは鋏による手刈りを行う。
- ・ 芝の病害や害虫の発生等には常に注意を払い、異常を発見した場合は発注者へ報告し処置について協議する。

## 3 雑草抜根除草

- ・ 雑草抜根除草は、構内の地被類の雑草を、鎌等を使用して人力により除去する。
- ・ 緑地内の雑草繁茂状況について注意を払い、除草の成果が有効に得られるような時期に作業を行う。

#### 4 施肥

- ・肥料は寄植及び芝に人力散布するものとし、施用量は以下のとおりとする。
  - 1)化成肥料（固形肥料） 寄植 1 m<sup>2</sup>当り 0.23kg
  - 2)化成肥料（形成複合肥料（細粒）） 芝 1 m<sup>2</sup>当り 0.03kg
- ・散布後、肥料が枝葉に付着して「肥焼け」をおこさないよう、十分に払い落とす。

#### 5 防除（樹木消毒）

- ・防除は動力噴霧器により散布するものとし、施用量は以下のとおりとする。
  - 1)スミチオン乳剤相当（夏季防除：高木、寄植） ※800～1000 倍希釈
- ・農薬の取扱いにあたっては、福島県農薬適正使用アドバイザーの認定を受けた者の管理・指導の基に行うものとし、あらかじめ施工計画時に担当者の認定証の写しを発注者に提出する。
- ・散布作業日は閉庁日を原則とし、事前に作業日程について発注者と打合せを行う。
- ・散布作業の際は農薬の特性・効果・取扱いの注意事項などについて作業者に周知徹底する。
- ・発生した害虫の種類により仕様書の定める薬剤では十分な防除の効果が得られない場合、もしくは散布する樹木に薬害により生育に著しく悪影響をおよぼすことが懸念される場合には、適切な薬剤の選定・使用について発注者と協議する。
- ・作業時は、薬剤の風散・飛散（ドリフト）により庁舎外の敷地や道路通行者の被曝、または河川等への流入などに対し十分な対策を行う。
- ・強風時・雨天時の作業は行わない。また、雨後などに樹木が濡れている場合など防除の効果が損なわれる場合には作業を行わない。
- ・作業前に、施設利用者に周知させる貼り紙・掲示板等を作業エリア内に掲げ、事故を防ぐこと。
- ・その他「住宅地等における農薬使用について（平成 25 年 4 月 26 日付け 25 消安第 175 号・環水大土発第 1304261 号）」の規定を遵守すること。

#### 6 樹木冬囲い

- ・構内樹木の害虫駆除及び季節的修景効果を目的として、冬囲いを行う。  
種別毎の施工手法は以下のとおりとする。
  - 1)アカマツ……こも巻き
- ・各取り外しの時期については、当年の気象状況に合わせて行うこと。

#### 7 発生材処分

- ・発生材は関係法令に基づき適正に処理すること。

#### 8 その他必要と認められる業務

- ・樹木養生業務において、緊急時は現場で迅速・的確な行動がとれる体制とすること。